

決算説明資料

2022年3月期第3四半期



Listed Company 4241

2022年2月
株式会社アテクト
atect VISION 25/30

2022年3月期第3四半期 業績総括



Listed Company 4241

全社連結業績

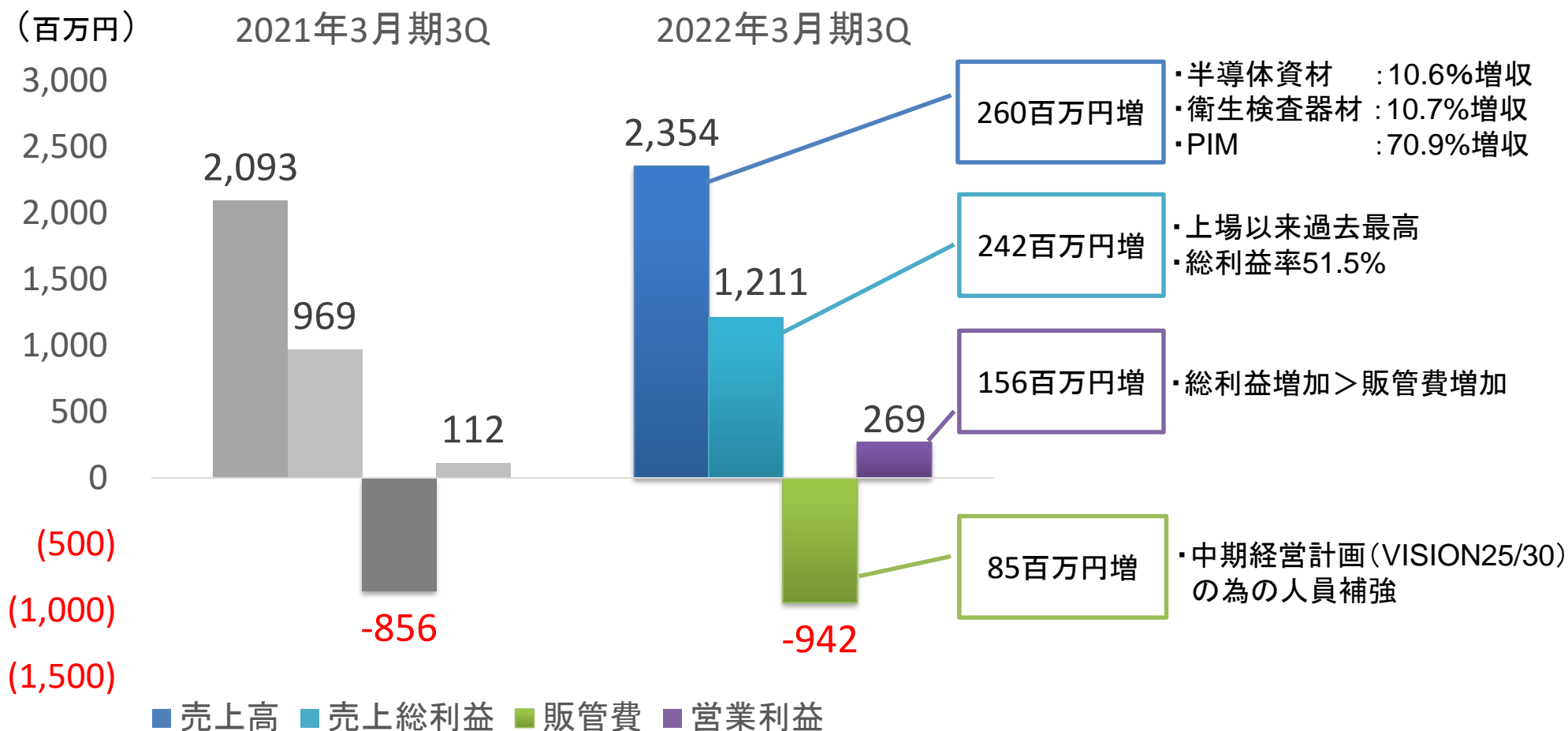
(百万円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
売上高	2,093	2,354	260	12.5%増
売上総利益	969	1,211	242	25.0%増
	46.3%	51.5%		
営業利益	112	269	156	139.3%増
	5.4%	11.5%		
経常利益	87	297	209	237.8%増
	4.2%	12.6%		
第3四半期 純利益	50	154	103	206.1%増

●3事業全てにおいて増収増益

●営業利益・経常利益は上場以来過去最高を更新

2022年3月期3Qサマリー



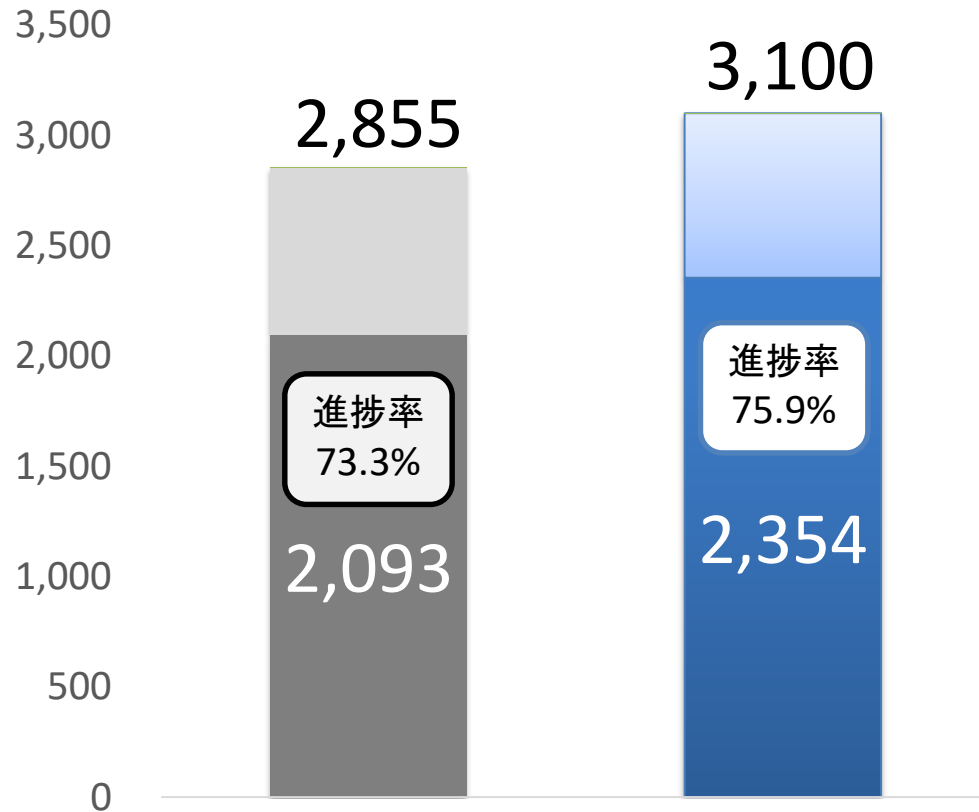
● 上場以来過去最高の営業利益

● 営業利益率11.5% (中期経営計画目標値: 10%)

業績予想に対する進捗

(百万円)

売上高



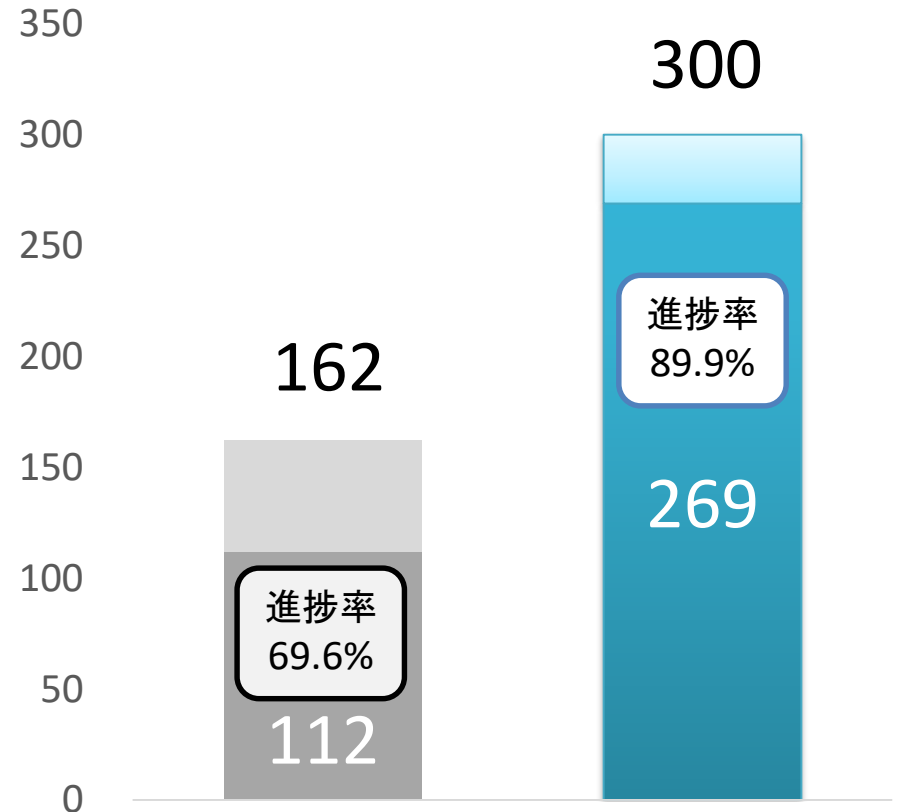
2021年3月期3Q

2022年3月期3Q

※2021年3月期は実績値

(百万円)

営業利益



2021年3月期3Q

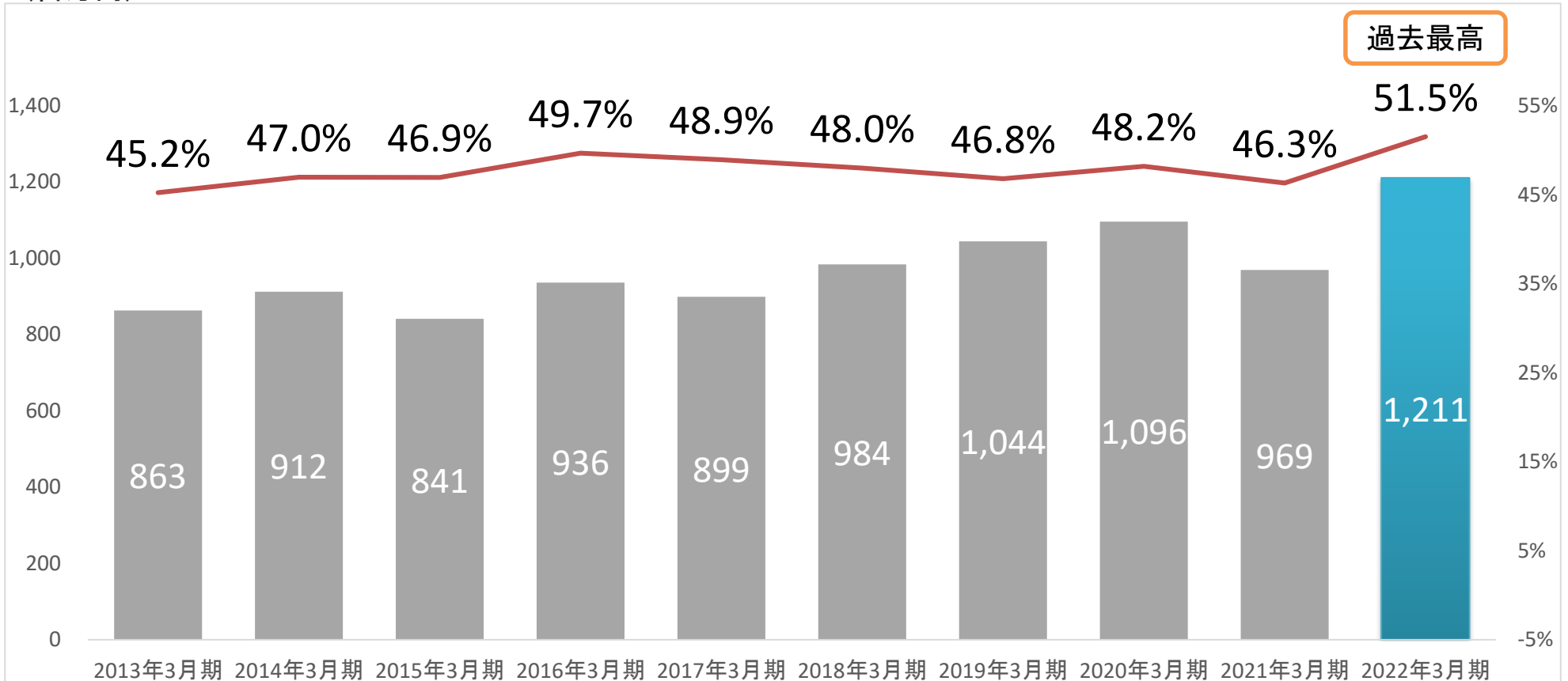
2022年3月期3Q

※2021年3月期は実績値

売上高30億円超え(11期ぶり)の通期業績予想に対して好調に推移

3Q売上総利益推移

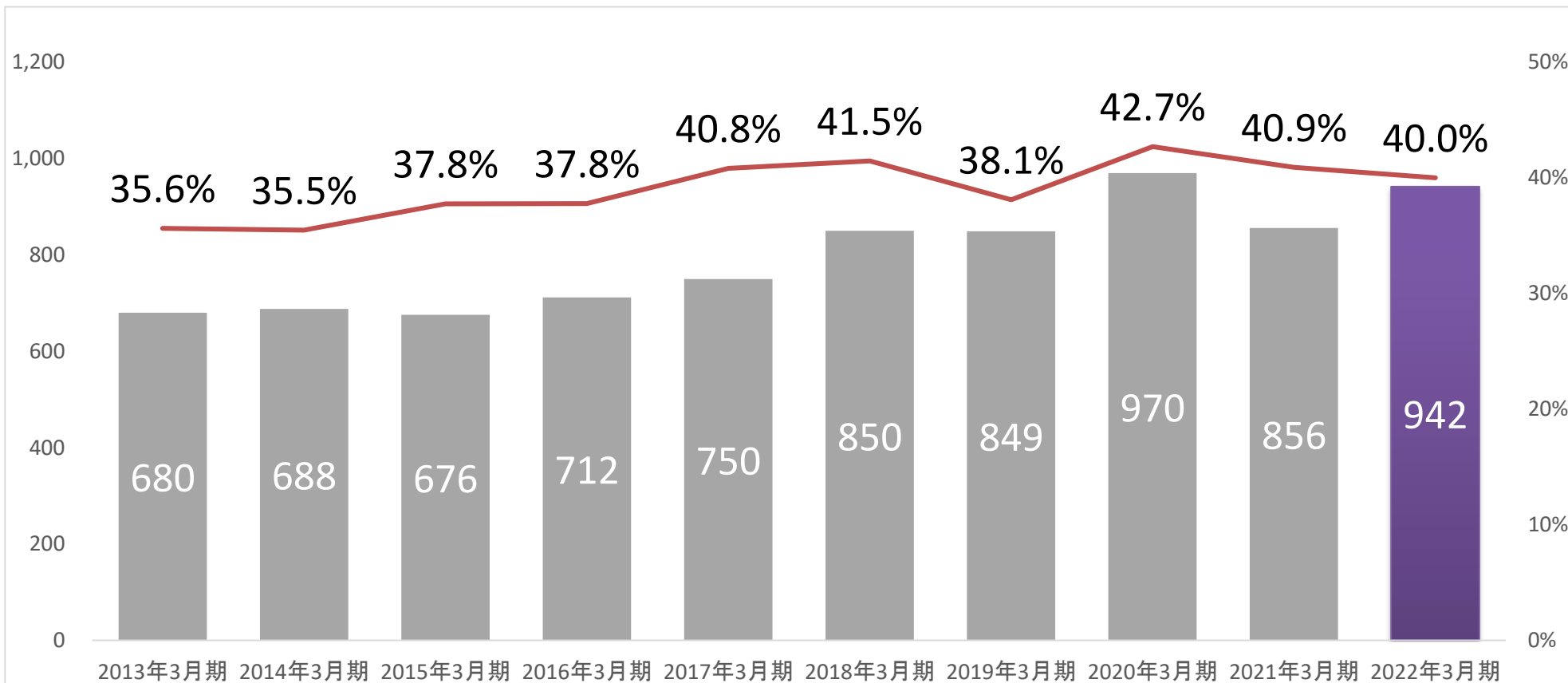
(百万円)



全事業・全製品の原価率の改善と増産に伴う在庫増により、売上総利益は上場以来過去最高、総利益率50%超えは初

3Q販売管理費推移

(百万円)



- 前期はコロナショック対応の為の費用抑制と雇用調整助成金取得により抑制
- 増産対応と4大新商品立上げにより費用増

各事業の現況と今後について

1. 半導体資材

- ①テレビ需要の落ち込みから、第3四半期単独での出荷数量は前期比▲30.5%と大幅に減少
- ②足元はやや持直しの兆しはあるが、テレビ市場の在庫調整に時間を要し、前年割れの可能性

2. 衛生検査器材

- ①コロナ禍における、内食・中食の需要喚起により、15ヶ月連続の増収
- ②福岡営業所新設、東京、大阪の3拠点での営業活動が奏功
- ③株式会社HIROTSUバイオサイエンス向けがん検査用シャーレ(N-NOSE)の普及活動に伴い、シャーレ出荷数量が大きく伸長

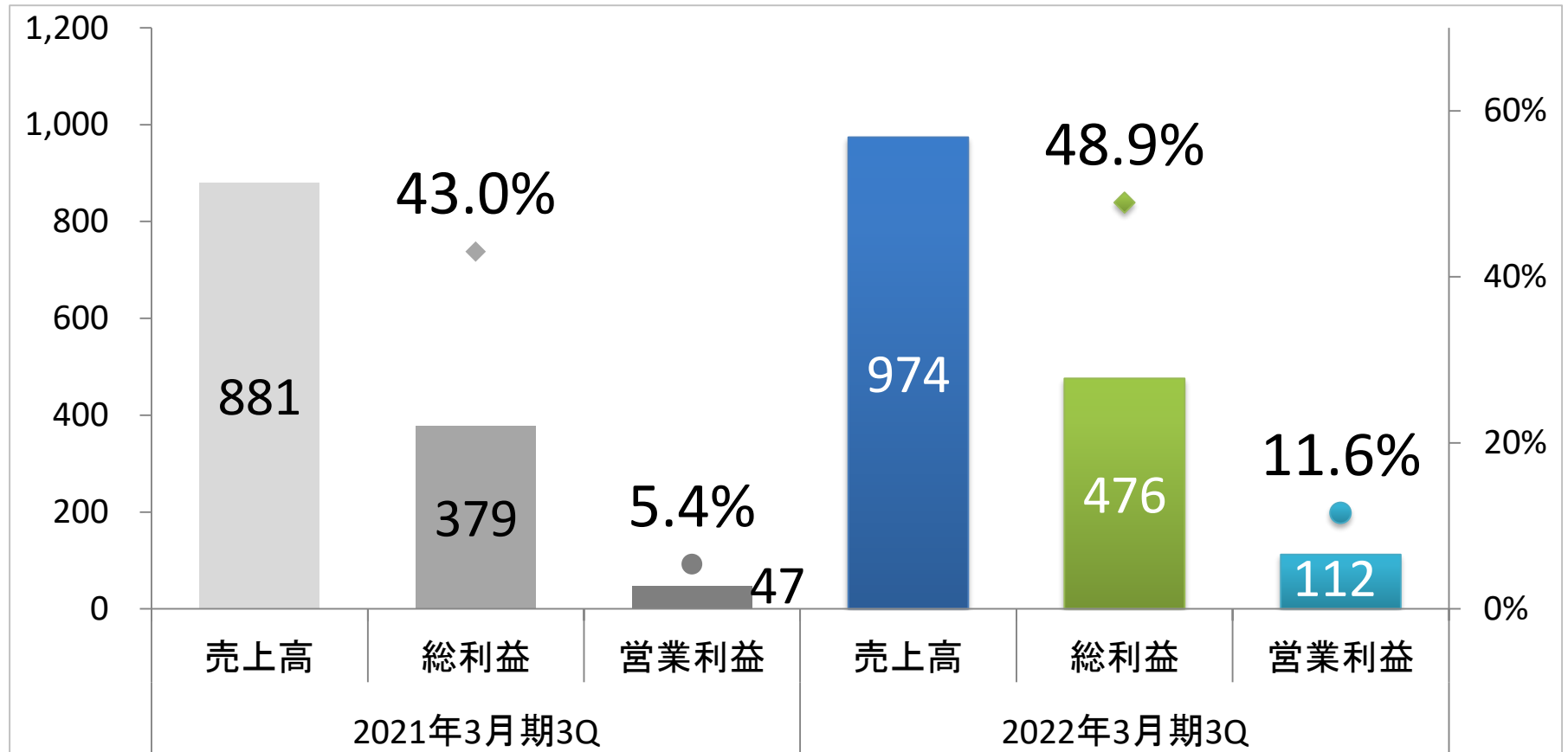
3. PIM

- ①株式会社IHI向け、ディーゼルターボ用5品番は2021年12月より、量産を開始
- ②THK株式会社向け直動型ベアリングや前期に受注したセラミックス製CMOSセンサー等の高機能部品の定番量産品が伸長
- ③量産部品の安定受注と新規案件獲得により、通期売上高、営業利益は過去最高の見込み

1. 半導体資材事業

(百万円)

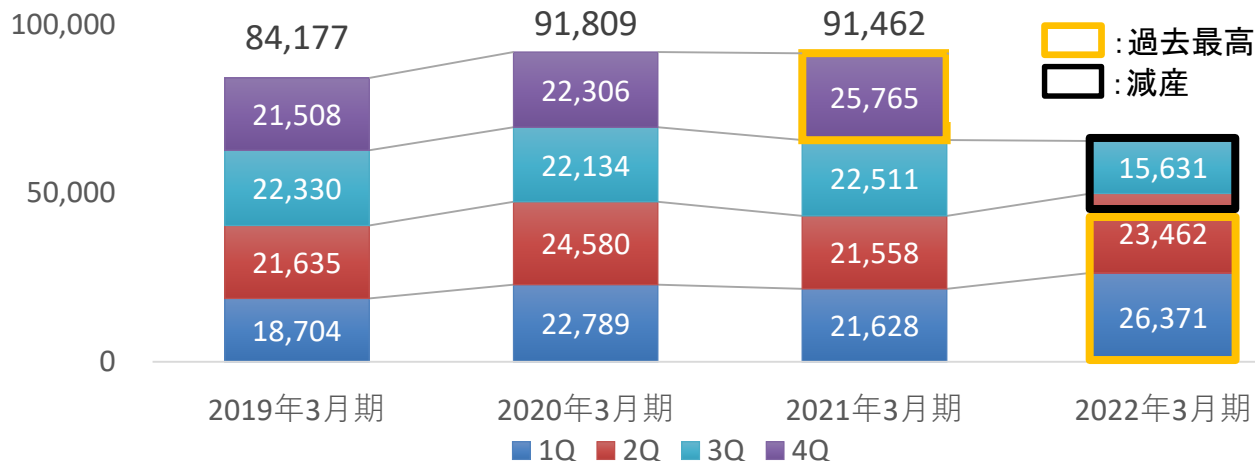
10.6%増収・138.6%増益



第3四半期累計での売上高は10.6%の増収となったが、第3四半期単独での出荷数量は前期比▲30.5%と大幅に減少

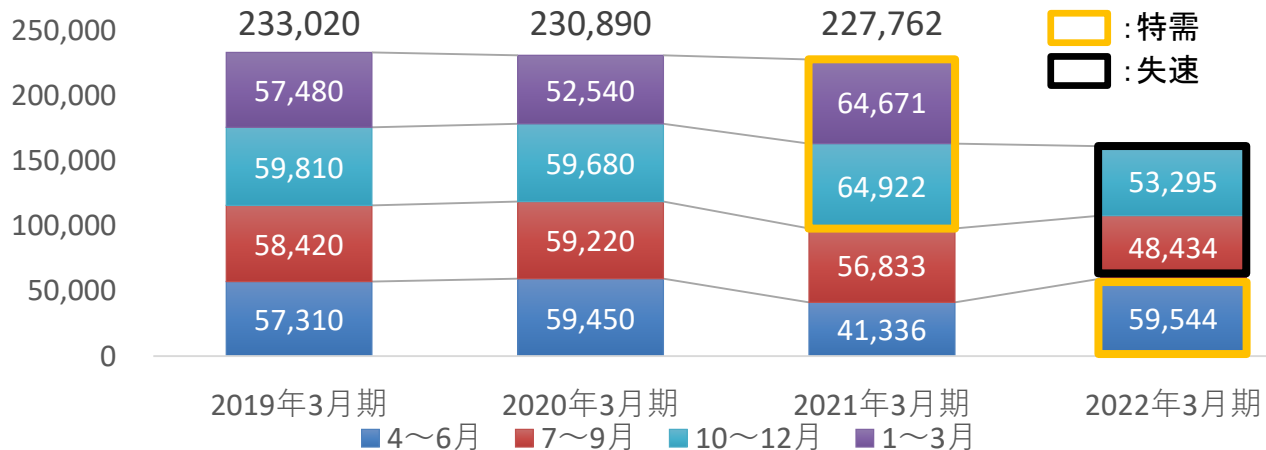
1-2. 当社出荷数量 vs 全世界テレビ出荷台数

1. 当社スペーサーテープ出荷数量(千m)



- ・2021年2月～9月の過去最高を更新
- ・2021年10月～大幅減産
- ・2022年2月やや回復基調

2. 全世界テレビ出荷台数(千台)※当社調べ



失速の要因

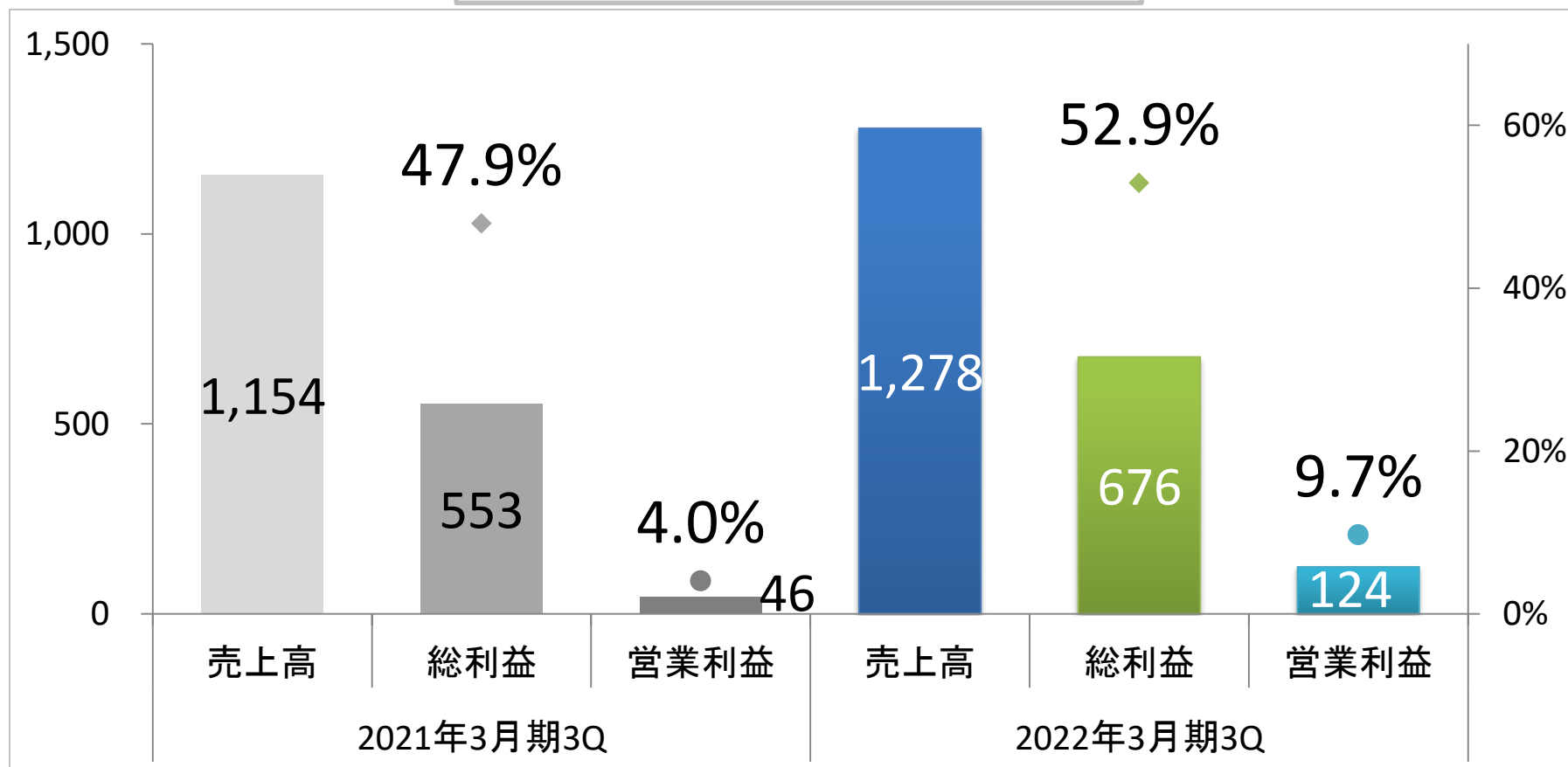
- ①北米での巣ごもり需要の落ち着き
- ②コンテナ不足、材料不足などのサプライチェーンの混乱による在庫増

当面はテレビ市場の在庫調整に時間を要するが緩やかに回復の見込、通期出荷数量は前年割れ必至

2. 衛生検査器材事業

10.7%増収・166.6%増益

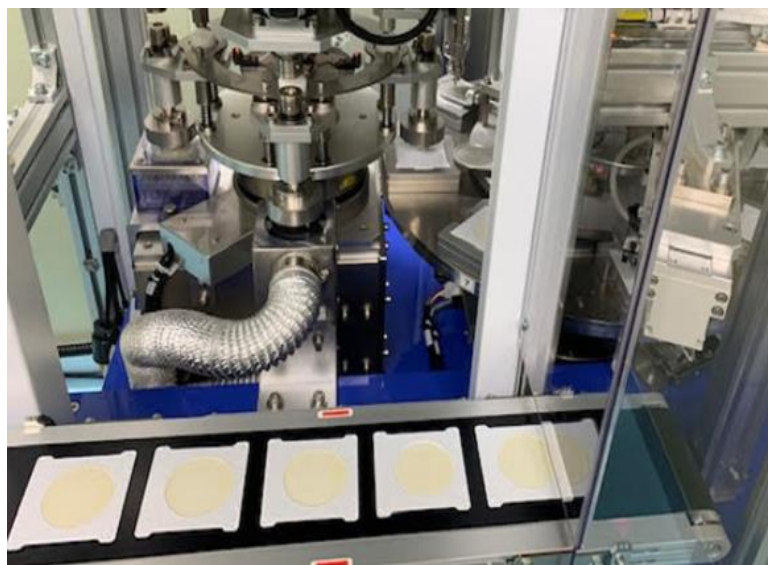
(百万円)



15ヶ月連続の増収、第3四半期累計売上高は過去最高を更新

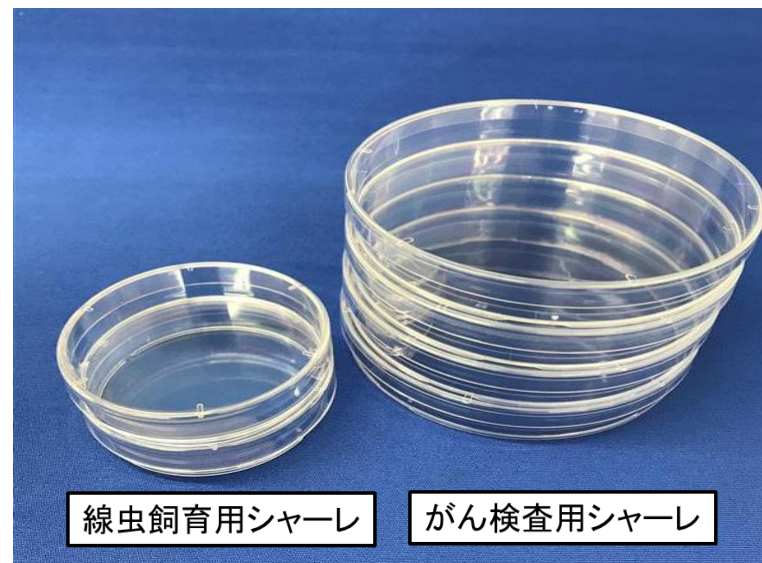
2-2. 衛生検査器材2大新製品の進捗

FM-Plate



- 既に50社に有償サンプルとして販売
 - 2022年10月AOAC取得後本格的に拡販
- ※AOAC: 食品・医薬品・化粧品等の分析に関する国際認証

がん検査用シャーレ

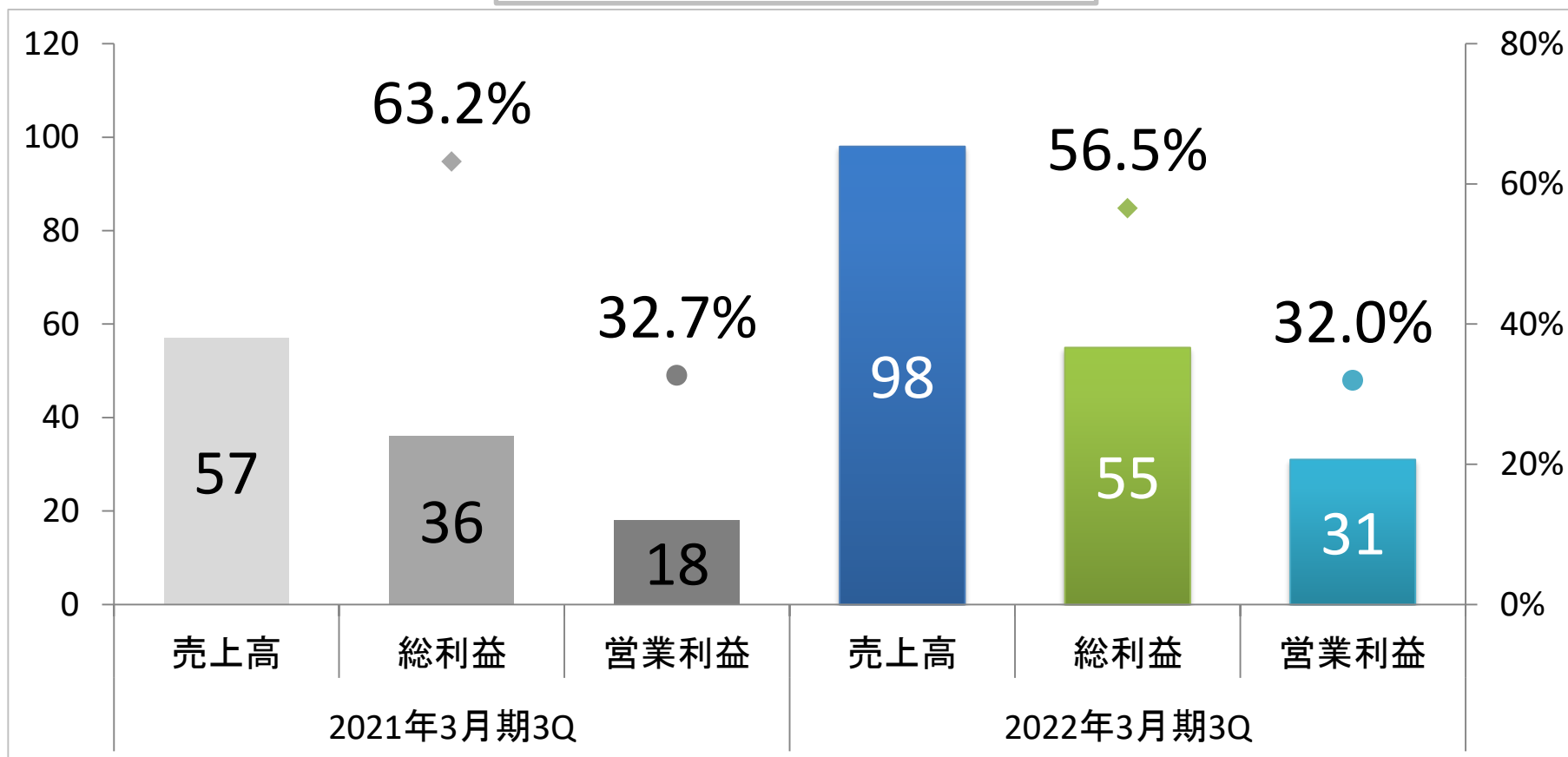


- HIROTSUバイオサイエンス『N-NOSE』の普及・拡大に向け、両社で「覚書」を締結
- 上記シャーレ2品番の専用ライン/専用金型を投資⇒2022年末立上げ予定

3. PIM事業

(百万円)

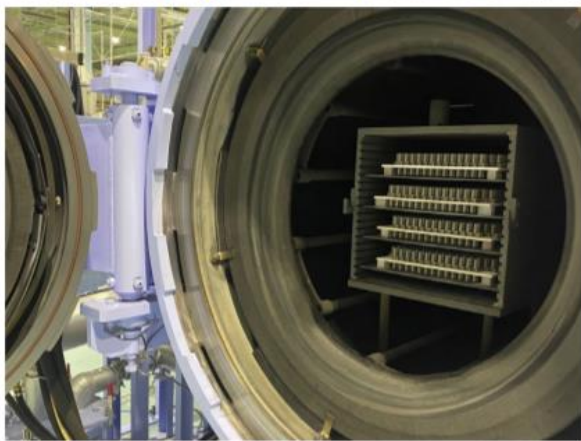
70.9%増収・67.4%増益



第3四半期累計の売上高は過去最高を更新、第4四半期以降も量産部品の安定受注と更なる新規案件獲得により、通期売上高・営業利益は過去最高の見込み

3-1. ターボ部品量産開始

2021年12月20日より、株式会社IHI向け自動車用ターボ部品 5 品番の量産を開始

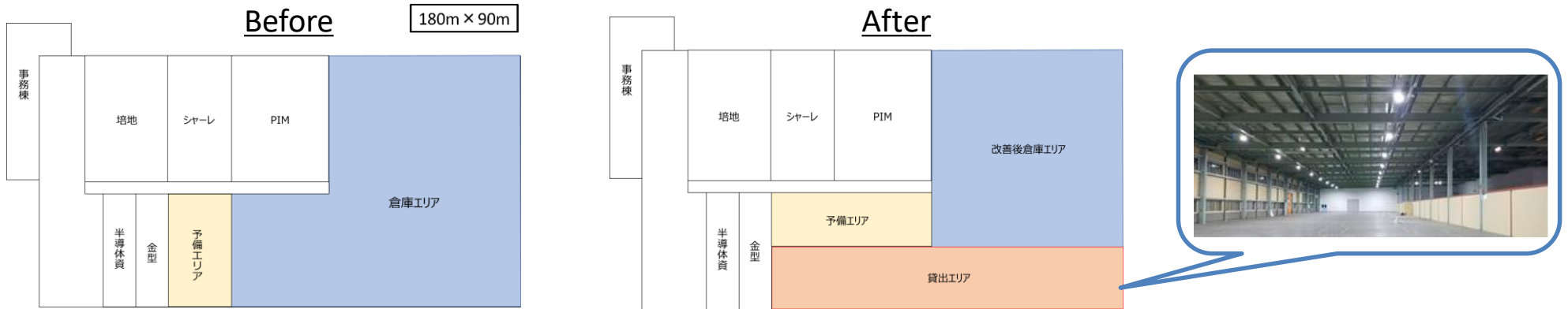


- 焼結炉の立ち上げについては 11月末で完了し、量産条件確立
- 外国人技能実習生の入国は目処が立たず社内人員の再配置で対応

今後は初回納入品の生産と安全在庫確保の為の量産体制を強化

4. 不動産賃貸業

- 1. 目的
高騰するシャーレ等の原材料費のリカバリー策として実施(年間売上高は34百万円を見込む)
- 2. 手段
 - ①全事業部全製品の1個当たりの生産タクトの短縮を中心とした生産性の向上
 - ②省スペース化の為の生産の流れ化による間締め
 - ③品質改革の推進による「滞留しないモノづくり」による生産リードタイムの短縮1,500坪の余剰スペースを創出し、2021年12月より、1,000坪の空きスペースを別スペースに仕切り、不動産賃貸業としてスタート



- 3. 賃貸先
東海、近畿の中間点として名神高速道路からのアクセス1分のロケーションと広大な敷地での大型車の往来等利点は多く、需要は非常に高い
先ず1年契約で大手物流・FAシステムメーカーに単独で賃貸



免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL: 0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp